



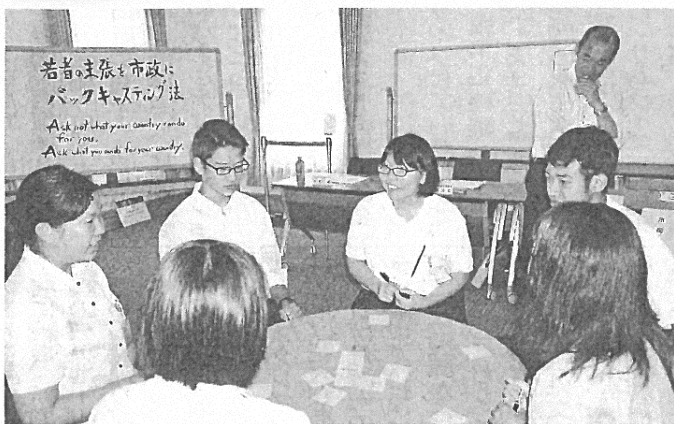
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2017

丹波新聞 平成29年8月24日(木)

谷口進一丹波市長が市民と対話する「タウン

自由な発想で提案 市長初のタウンミーティング 高校生28人が参加



谷口市長（後方）に提案するアイデアを班ごとに話し合う高校生たち＝柏原町柏原のたんば黎明館で

ミーティング」の初回が19日、たんば黎明館（柏原町柏原）で開かれた。5高校28人の生徒が参加。「暮らし続けたいまち」にするためのアイデアを出し合い、路面電車の整備や空き家でまちおこしなど、高校生らしい自由な発想で提案した。10、11月にもタウンミーティングを実施する。路面電車では子どもたちと一緒に車体を塗装したり、有名人とのコラボでデザインをするとの提

案があった。空き家を生かしたまちおこしでは、農業体験の拠点としたり、ライブ会場や宿泊所にしてはという意見なども出た。このほか、冬場の観光活性化のために「こたつレストラン」を開くことも提案した。谷口市長は「丹波市から出て、丹波市を思い続けてほしい」と高校生たちと呼び掛けた。関西大学佐治スタジオ研究員の出町慎さんが全体的進行役、同大環境都市工学部の生徒6人がグループごとの進行役を務めた。2回目は10月15日、春日住民センターで「子育て支援」について市民と語る。9月から募集す